

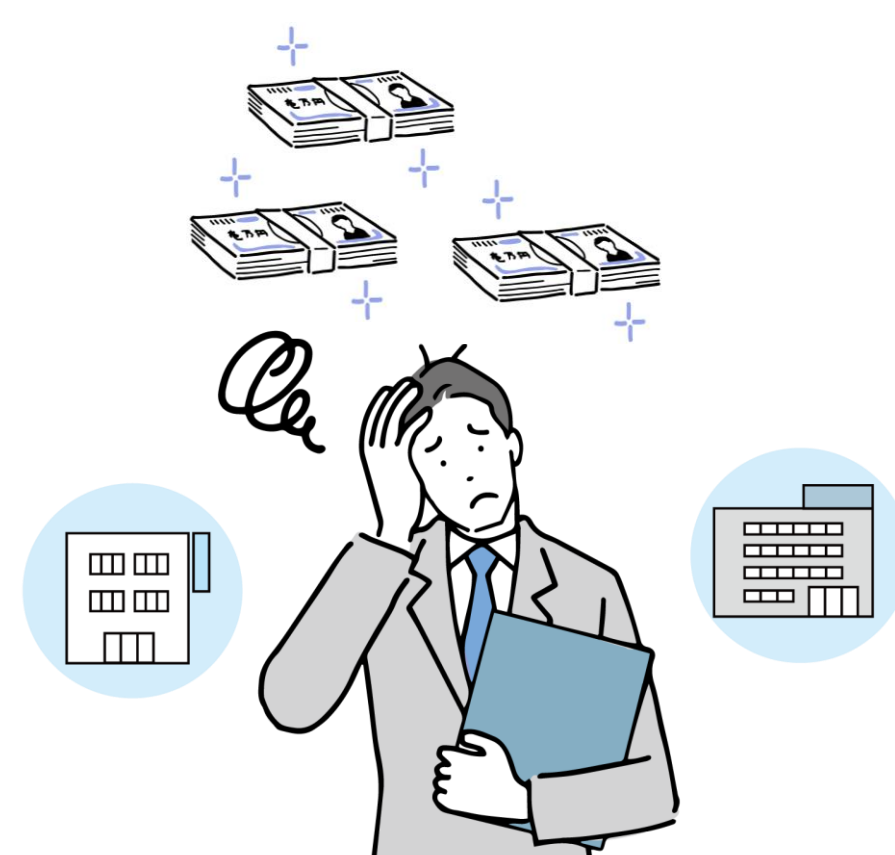
株式って何？

これから学んでいく「株式」とは、一体何なのか？

株式とは...

ズバリ！ **企業がお金を集めるための道具**

「新しい工場を建てる」「新しいシステムを導入する」など、会社を運営していくには何かと資金が必要です。大きな事業やプロジェクトを始めようとする、それだけ大きな資金が必要になってきますよね。企業はお金を集めてくる方法を考えなくてはならないのです。



企業がお金を集める方法

① 銀行からお金を借りる

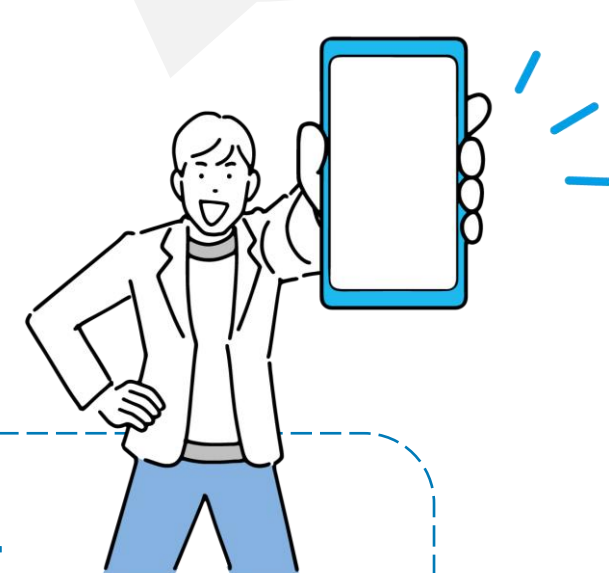
企業がお金を集めるときの代表的な方法。これも「資金調達」のひとつ。

しかし、どんな企業でも銀行からお金が借りられるとは限りません。

例 スマホゲームが大好きで、コンピュータやプログラムにも詳しい青年

「自分なら、斬新で面白いスマホゲームができる！」と会社をつくることを決めます。しかし、この青年が銀行へ行き「自分の会社にお金を貸してください！このゲームが大ヒットしたら、そのときにお金は返します！」と言っても、貸してくれないでしょう。

おーい、銀行さんよ。こんなスマホゲーム開発したいからワシにお金貸してくれんか？ミスったらごめんww



銀行で借りたお金は、約束した期日までに返さなくてはなりません。

どれだけ自信あっても、**成功する保証がない企業に、銀行は簡単にお金を貸してくれません。**



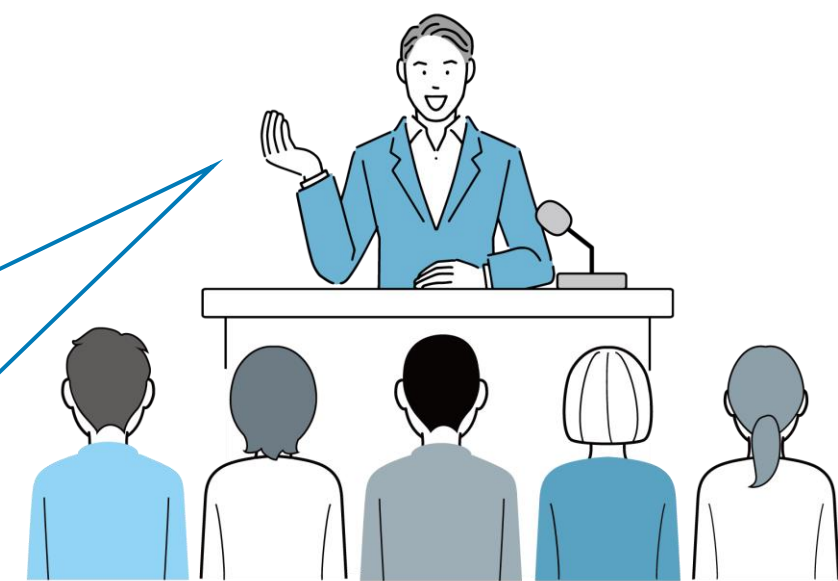
では、どんな手段で資金を集めたらいいの？

② 世の中のたくさんの人からお金を集める

別の方法を考えてみましょう。例えば、街中の人たちに

私の会社のためにお金を出してくれませんか？

儲かったお金は、出していただいた金額にあわせて皆様に分配します。ただし、スマホゲームが流行らず事業が失敗したら、お金は返せないのです。そのときは諦めていただきます。

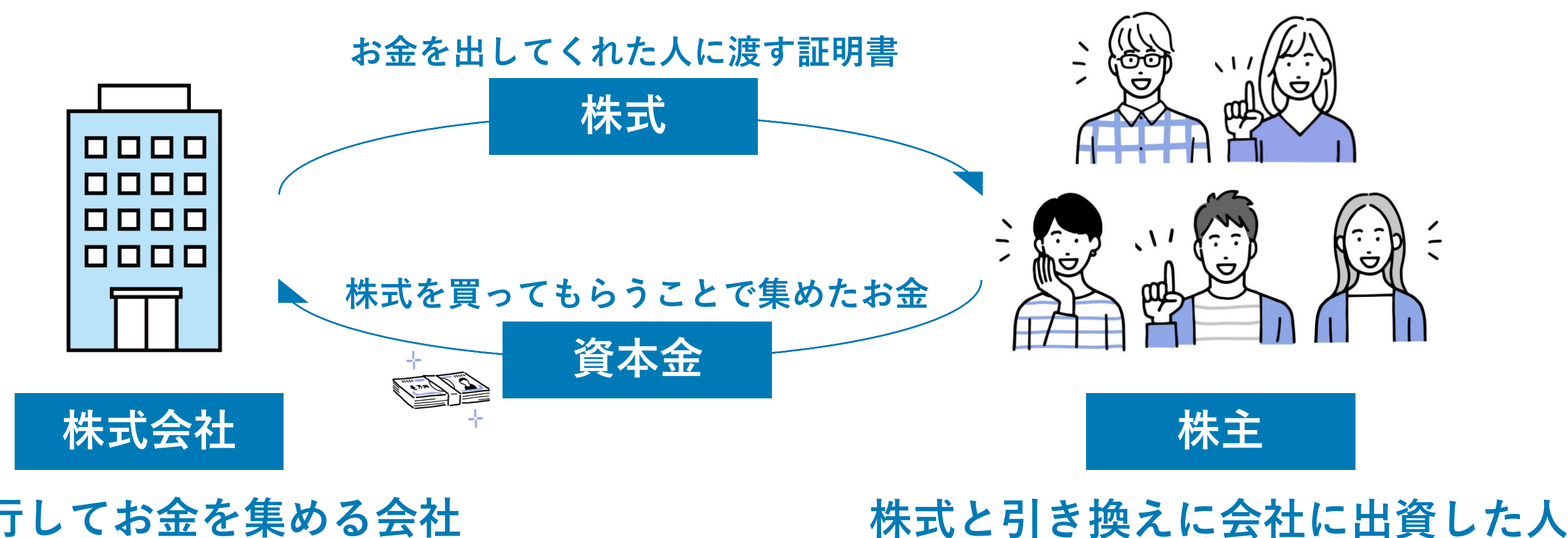


このようにお願いする方法です。

何人かは、スマホゲームの才能やプログラム技術に期待してお金を出してくれるかもしれません。

この“世の中のたくさんの人々からお金を集める”ということ自体が**株式**の考え方です

株式の基本知識



株主から集めた資本金は

原則として「返す必要のないお金」になる

会社を運営する人にとって、返す義務がないというのは、重要なことです。

なぜなら、常に一定のお金を確保して仕事を続けることができ、精神的にも時間的にも良いアイデアを潰さずに仕事ができるためです。

お金を出すのと引き換えに

その会社に対して、一定の権利を持てる

株主は、会社が出した利益に応じて配当（分け前）を受け取ることができます。

会社に出資したお金を返してもらえない代わりに、株主をやめたいときや急にお金が必要になったとき他の人に株式を売り渡す自由が認められています。

このような決まりがあることで

誰でも気軽に株式を買うことができるようになっている

魔弾の結論

株式とは...

企業がお金を集めるための道具

お金を出してくれた人に渡す証明書のようなもの

信じて協力してもらい、お返しすること

